

環境モニタリング結果報告書(2005年10月分)

1. 空間線量当量率（周辺監視区域及び管理区域の境界付近）

施設E及び施設Pについては、周辺監視区域及び管理区域が解除となっており、空間線量当量率の測定は終了しております。

2. 空間線量当量率（敷地境界付近）

敷地境界での空間線量当量率については、放射能に関する所内全域調査を実施中であることから、引き続いて測定しております。

- (1) 測定日 平成17年10月1日～10月31日の毎週1回 計4回
 (2) 測定器 測定器 NaIシンチレーションサーベイメータ
 (3) 測定値測定値（4回のうちの最大値を示します。）

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)	測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
(1)	0.05	(4)	0.07
(2)	0.05	(5)	0.05
(3)	0.07		

(4) 結果

いずれもバックグラウンド並であり周辺環境への影響はありません。

3. 空気中の放射能濃度

敷地境界での空気中の放射能濃度については、放射能に関する所内全域調査を実施中であることから、引き続いて測定しております。

- (1) 測定日 平成17年10月1日～10月31日の毎週1回 計4回
 (2) 測定方法 ろ過捕集方式、自動計数装置
 (3) 測定値（4回のうちの最大値を示します。）

測定場所	測定値 (Bq/cm^3)	測定場所	測定値 (Bq/cm^3)
A	検出限界濃度以下	d	検出限界濃度以下
B	検出限界濃度以下	e	検出限界濃度以下
C	検出限界濃度以下		

注) 検出限界濃度は $2.774 \times 10^{-10} \text{ Bq}/\text{cm}^3$ です。

(4) 結果

いずれも制限値 ($3 \times 10^{-9} \text{ Bq}/\text{cm}^3$) を下回っており周辺環境への影響はありません。

4. 地下水中のウラン濃度

施設E及び施設Pについては、周辺監視区域及び管理区域が解除となっており、地下水中のウラン濃度の測定は終了しております。

備考

測定場所の位置については付図を参照願います。なお、旧核燃料試験研究施設はすべて解体撤去しておりますが、測定場所の位置に変更はありませんので、管理区域の範囲及び建屋の配置については当初のまま記載しております。

以上